

《施工要領》

ルーティカット CAS タイプ(ステンレス)

(金属系アンカー／本体打込み式)

1. はじめに

本製品は金属系アンカー 本体打ち込み式のルーティカットCASタイプ(ステンレス)です。専用打ち込み工具を用いて本体を打ち込み、本体脚がコーンのテーパ部に沿って開く事で、アンカーがコンクリートに固着されます。

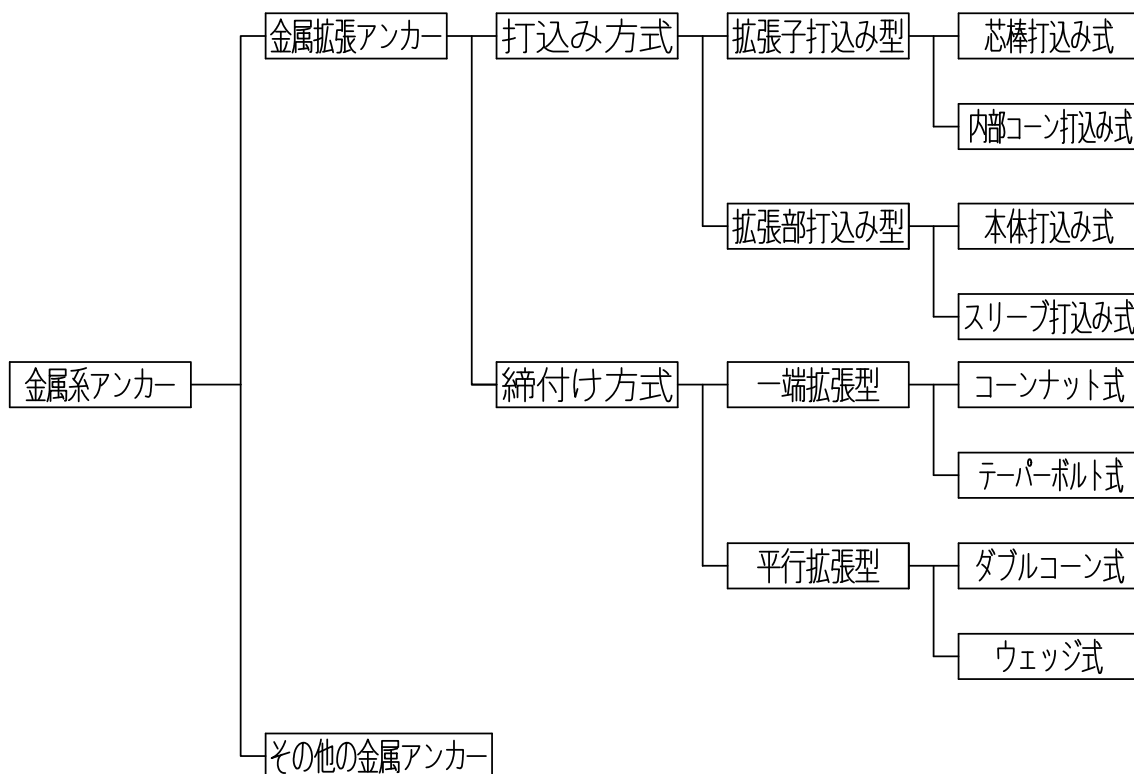


図 1. 金属系アンカー系統図

本「施工要領書」はユニカ金属系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ金属系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

2. 施工

2. 1 施工仕様

下表に示す仕様にて施工を行って下さい。また、施工は専用打ち込み棒を使用して行って下さい。

表 1、ルーティカット CAS タイプ（ステンレス）施工仕様一覧

品番	ねじ径	外径 (mm)	全長 (mm)	ねじ長 (mm)	穿孔・施工仕様		
					穿孔径	穿孔深さ	埋込長さ
					(mm)	(mm)	(mm)
6CAS	M6	10.5	30	11	11.0	33	30
8CAS	M8	12.0	35	14	12.5	39	35
10CAS	M10	14.0	40	14	14.5	45	40
12CAS	M12	17.5	50	22	18.0	56	50
16CAS	M16	21.5	60	24	22.0	68	60
20CAS	M20	25.5	80	30	26.0	90	80
22CAS	M22	28.5	90	35	29.0	100	90
28CAS	W1/4	10.5	30	10	11.0	33	30
258CAS	W5/16	12.0	35	14	12.5	39	35
38CAS	W3/8	14.0	40	14	14.5	45	40
48CAS	W1/2	17.5	50	22	18.0	56	50
58CAS	W5/8	21.5	60	24	22.0	68	60
68CAS	W3/4	25.5	80	30	26.0	90	80
78CAS	W7/8	28.5	90	35	29.0	100	90

表 2. ルーティカット用打込棒

品番	適合アンカー品番	全長 (mm)
28C	6CAS / 28CAS	160
258C	8CAS / 258CAS	160
38C	10CAS / 38CAS	170
48C	12CAS / 48CAS	195
58C	16CAS / 58CAS	180
68C	20CAS / 68CAS	180
78C	22CAS / 78CAS	200

表 3. 参考締付けトルク

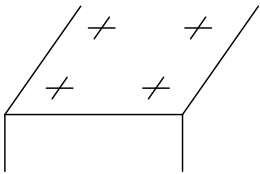
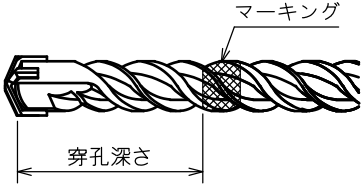
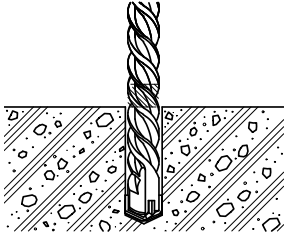
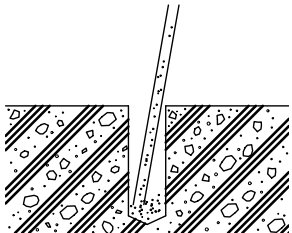
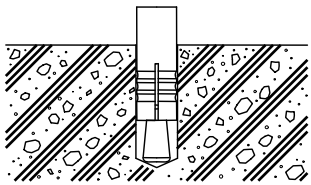
ねじ径	参考締付けトルク (N・m)
M6(W1/4)	4
M8(W5/16)	10
M10(W3/8)	20
M12(W1/2)	35
M16(W5/8)	85
M20(W3/4)	160
M22(W7/8)	230

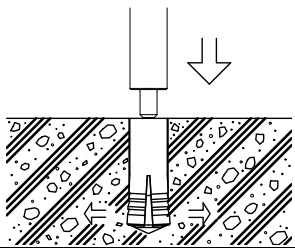
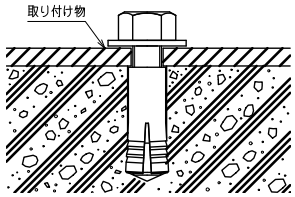
2. 2 母材

ルーティカットは普通コンクリートへの施工が可能です。

2. 3 施工手順

表 4. ルーティカット CAS タイプ (ステンレス) 施工手順

施工手順		注意事項
①	墨出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に分かりやすくマークします。 ・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。
②	ドリルビットへのマーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前述の施工仕様にあった径のドリルビットを選定します。 ・ ドリルビットの肩から穿孔深さを測り、ビニールテープ等でマークします。
③	母材へ下穴の穿孔 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母材の墨出しを行った位置に穿孔を行います。 ・ 穿孔は施工面に直角になるように行います。
④	下穴の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集塵機、ブロワー等で下穴の切粉を除去します。 ・ 下穴に切粉が残りますと不具合が発生する可能性があるため、確実に除去してください。
⑤	下穴へのアンカーの挿入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンカーを下穴に挿入する前にコーンが脱落していないか、または斜めにセットされていないかを確認してください。 ・ 取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、埋込み長さを調整してください。 *必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。

⑥	<p>本体の打ち込み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティカット用打ち込み棒を使用して、打ち込みの手応え又は音が変わるまで打ち込んでください。 ・アンカーのサイズにより適切な専用打ち込み棒とハンマーの重さを変更してください。
⑦	<p>取り付け</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボルト類を使用して器材等を取り付けてください。 ・使用ボルトとアンカーネジ部の「はめあい長さ」はアンカー本体ねじ長の「約2/3以上」の深さまでねじ込んでください。 ・締めつけに関して図面等に指示がある場合はこれに従ってください。

3. 取り扱い上の注意事項

3. 1 ご使用になる前に

3. 1. 1 取り付け面および取り付け物の確認

施工面、母材などについて以下の項目をご確認ください。

- ① 取り付け面が均一な平面であること。
- ② 取り付けの対象となるコンクリートは JIS で規定されている普通のコンクリートであること。
- ③ 取り付け物と取り付け面にすき間のないこと。
- ④ 仕上げ材の有無および、その厚さの確認。

※①②③に該当しない場合、当アンカーを使用しないでください。

3. 1. 2 アンカーの点検

施工時、施工後の安全性を確保するため、以下の項目をご確認ください。

- ① 本体にねじがあること。
- ② 本体にコーンが挿入されていること。
- ③ 本体拡張部に十字割りがあること。
- ④ 本体に割れ、欠けがないこと。

※上記項目に当てはまらないアンカーは使用しないでください。

3. 2安全に関する注意事項

- ① 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。
- ② 下穴の切粉は集塵機またはブロワーできれいに取り除いてください。
- ③ 打ち込み用ハンマーはアンカーサイズに応じた適切な物を使用してください。
- ④ 下穴あけは指定サイズのドリルを必ず使用してください。
- ⑤ 取り付け物の上から使用する場合や、母材に仕上げ材がある場合は、その厚さに応じて埋込長さを調整してください。

3. 3異常に対する処理

施工中に次のような異常が発生した場合、ただちに作業を中止し、現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

- ① アンカー本体が正常に挿入できない。
- ② 本体が最後まで打ち込めない。
- ③ アンカー本体の損傷。

3. 4その他

当アンカーはステンレス鋼ではありますが、使用環境によっては腐食の恐れがありますのでご考慮ください。